

「チケットガード」をご契約いただくお客様へ
！！ご契約いただく前に必ずお読みいただき、内容を最後までご確認の上、お申込みください！！

～チケットガード 重要事項説明書～

「チケットガード」は、不使用チケット費用補償保険のペットネームです。

この「重要事項説明書」は、ご契約内容の概要および注意事項をご案内しておりますので必ずお読みいただき、保険契約確認証と共に
 ご契約後も大切に保存してください。
 今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

！！ご契約者の皆様へ！！

* ご契約者と被保険者が異なる場合はこの説明書を被保険者の方にお渡しください。もしわかりにくい点、お気づきの点がありましたら、
 ご遠慮なくAWPチケットガード少額短期保険株式会社（以下、「弊社」）におたずねください。
 （その他の重要事項 2「お客様窓口」をご参照ください）

*** ご契約者から他の方にイベントチケットを譲渡する場合は、保険契約確認証兼譲渡証明書（ご契約者が署名したもの）および「重要事項説明書」を必ず一緒にお渡しいただきますようお願いいたします。**

重要事項説明書・目次

契約概要

- 1 「チケットガード」のしくみ
- 2 保険契約者
- 3 被保険者（保険の補償を受けられる方）
- 4 チケット使用予定者
- 5 保険金をお支払いする場合
- 6 保険金をお支払いできない主な場合
- 7 保険責任期間
- 8 弊社がお引き受けする保険契約について
- 9 保険金額
- 10 保険料および保険料払込期日
- 11 保険料の払込方法
- 12 保険責任期間中の保険料の増額または保険金額の減額について
- 13 配当金の有無
- 14 解約と返還保険料について

注意喚起情報

- 1 保険金をお支払いできない主な場合
- 2 弊社にご連絡をいただく必要がある場合
- 3 保険責任の開始時期
- 4 保険料の払込猶予期間
- 5 契約の失効について
- 6 クーリングオフについて
- 7 保険契約者保護機構について
- 8 保険料の増額または保険金の削減払について
- 9 契約引受可能な範囲について
- 10 個人情報の取扱いに関するご案内
- 11 支払時情報交換制度
- 12 補償重複に関する事項
- 13 その他ご契約時にご注意いただきたいこと

その他の重要事項

- 1 保険金請求のお手続き
- 2 お客様窓口

契約概要

！ご契約に関する全ての内容を記載しているものではありません。詳細については約款をご確認ください。

1 「チケットガード」のしくみ

「チケットガード」とは、急な病気やけが、ご家族の入院、交通機関の遅延、突然の出張命令などでやむを得ずイベントの観覧、参加等ができなかった場合に、チケット代金を補償する保険です。

！注！日本国内で開催される日時場所指定のイベントのイベントチケットを、弊社が指定するチケット販売事業者を通じて購入した場合に限ります。

場所が移動する形態のイベントは含みません。

！注！保険金として支払う額は、弊社が指定するチケット販売事業者を通じて1イベントチケットを購入するために要した金額とし、送料、手数料、その他諸費用は含まれません。1枚で複数人が入場できるイベントチケットの場合には、保険金として支払う額は上記金額を当該イベントチケットが表象する最大使用可能人数で除した金額となります。

！注！この保険は、イベントが中止・延期等になった場合のチケット代金を補償するものではありません。

2 保険契約者

ご契約者は、弊社の指定するチケット販売事業者を通じてイベントチケットを購入した個人の方のうち本保険契約を締結した方です。
 事業を目的とする場合はご契約を締結することができません。

3 被保険者（保険の補償を受けられる方）

「チケットガード」において被保険者とは以下の方です。被保険者にあたる方が保険金請求を行うことができます。

- (1) この保険のご契約者
- (2) この保険契約の対象となるイベントチケットをご契約者から直接譲り受け、保険契約確認証兼譲渡証明書の被保険者欄に記載された個人の方です。
 - ① イベントチケットを譲渡する際に、ご契約者によるご署名済みの保険契約確認証兼譲渡証明書をイベントチケットと共に被保険者の方に必ずお渡しください。被保険者の方が保険金請求を行う際に必要です。
 - ② イベントチケットを譲渡する際に、ご契約者は必ず被保険者にこの重要事項説明書も一緒にお渡しください。

以下のような方は被保険者とならず、保険金請求を行うことができません。

- (3) この保険契約の対象となるイベントチケットを持っているがご契約者の方に認知されておらず、重要事項説明書や保険契約確認証兼譲渡証明書をお持ちでない方
- (4) 保険契約確認証兼譲渡証明書の被保険者欄に記載されていない方

4 チケット使用予定者

「チケットガード」においてチケット使用予定者とは、以下の方と定義します。

- (1) 保険契約対象のイベントチケットを使ってイベントの観覧、参加等をする予定の被保険者の方
 - (2) 保険契約対象のイベントチケットを使ってイベントの観覧、参加等することを契約者が認めた個人の方
- 保険契約者、被保険者、チケット使用予定者の定義と関係については次ページの「図解！」をご確認ください。


図解！：保険契約者・被保険者・チケット使用予定者とは その1

(※架空のケースを想定したものです)


契 = 保険契約者

被保 = 被保険者

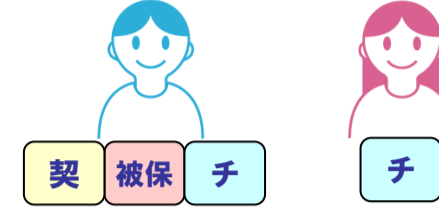
チ = チケット使用予定者



タロウは娘のために、演劇のチケットを2枚購入すると共に、保険契約を締結しました。



タロウと一緒に連れて行く娘にはチケットは渡しました。万一の時には自分でまとめて請求しようと思っています。

この場合、娘は「チケット使用予定者」ですが、タロウのみ「被保険者」です。

図解！：保険契約者・被保険者・チケット使用予定者とは その2


(※架空のケースを想定したものです)

契 = 保険契約者

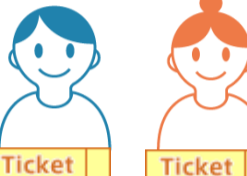
被保 = 被保険者

チ = チケット使用予定者

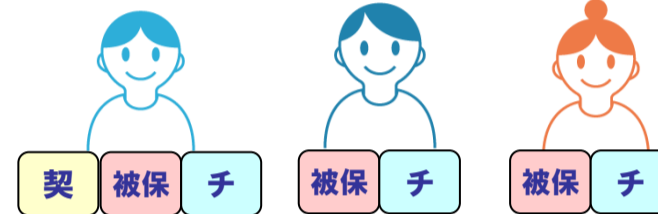
確 = 保険契約確認証兼譲渡証明書



タロウは友人とコンサートに行くため、チケットを3枚購入すると共に、保険契約を締結しました。



うち2枚は「保険契約確認証兼譲渡証明書」と共に友人ジロウとハナコに渡し、重要事項説明書を渡しました。

この場合、タロウ、ジロウ、ハナコ、3名ともそれぞれ「被保険者」であり「チケット使用予定者」で、保険金を請求することができます。

5 保険金をお支払いする場合

保険責任期間中に生じた次のいずれかの事由を直接の原因としてイベントの観覧、参加等ができず、かつ、イベントチケットを使用しなかった場合に、保険金をお支払いします。

①ご本人の病気・ケガによる入院・通院

- ・入院：チケット使用予定者が、イベント当日に入院(*1)していたことによりイベントの観覧、参加等ができなかった場合
- ・通院：チケット使用予定者が、イベント当日に発病し、もしくは発病していた疾病、または、イベント当日に被った、もしくは被っていた傷害によりイベントの観覧、参加等ができず、かつイベントの前日、イベントの当日またはイベントの翌日に通院または医師の診察を受けた場合



②ご家族の病気・ケガによる入院・通院

- ・入院：チケット使用予定者が、配偶者(*2)または1親等の親族（親または子）が疾病または傷害によってイベント当日に入院中であることにより、チケット使用予定者による看護・介護が必要となりチケット使用予定者がイベントの観覧、参加等ができなかった場合
- ・通院：チケット使用予定者が、配偶者(*2)または同居の1親等の親族（親または子）のイベント当日に発病し、もしくは発病していた疾病、または、イベント当日に被った、もしくは被っていた傷害により、チケット使用予定者による看護・介護が必要となりイベントの観覧、参加等ができず、かつ、当該親族がイベントの前日、イベントの当日またはイベントの翌日に通院または医師の診察を受けた場合



③ご本人またはご親族の死亡

- ・チケット使用予定者が保険責任期間内に死亡(*3)した場合。
- ・イベント当日から遡って7日以内（イベント当日を含む）に、チケット使用予定者の配偶者または3親等以内の親族(*4)が死亡した場合



④当日の交通機関の運休・遅延

チケット使用予定者が、イベント当日にイベント会場に向かう際に利用する公共交通機関(*5)に運休、欠航、または2時間以上の遅延が発生したことにより、イベントの観覧、参加等ができなかった場合



⑤火災・災害による家屋損壊等

イベント当日から遡って30日以内（イベント当日を含む）に、チケット使用予定者の平時居住している家屋が、火災、落雷、破裂または爆発（*6）、台風、せん風、暴風、暴風雨等の風災（*7）、ひょう災または豪雪、雪崩等の雪災、水災（*8）等により家屋または家屋の一部が損害を受け（*9）、イベントの観覧、参加等ができなかった場合



⑥裁判員に任命された場合

チケット使用予定者が、裁判員の参加する刑事裁判に関する法律（平成16年法律第63号）に定める裁判員または補充裁判員に選任され、イベント当日に裁判所に出廷したことにより、イベントの観覧、参加等ができなかった場合



⑦急な出張

チケット使用予定者が、勤務先の出張命令者の命令にしたがって勤務先業務のために、国外への業務出張（*10）または国内の宿泊を伴う業務出張（*11）を余儀なくされたことにより、イベントの観覧、参加等ができなかった場合。ただしイベント当日が業務出張の開始日から業務出張の終了日の間に含まれるとき。







⑧同じ保険契約での同伴者の事由（同伴者事由）

チケット使用予定者の内の1人が①から⑦までの事由により、イベントの観覧、参加等ができない事を直接の原因として、当該チケット使用予定者と同伴を予定していた他のチケット使用予定者もイベントの観覧、参加等をしなかった場合。但し、当該事由で保険金が支払われるのは、事由が発生したチケット使用予定者に同伴を予定していた方1名分までとします（下記「詳しく解説！」参照）。






- (*1) 他の病院または診療所に移転した場合は、移転のために必要とした期間は入院中とみなします。ただし、その移転について治療のため医師が必要と認めた場合に限りです。
- (*2) 配偶者には、事実上ないし社会通念上の配偶者と認められる者（内縁関係にある者）も含まれます。（「内縁」とは、婚姻意志をもって同居し、実質的には夫婦同様の共同生活を送っているが、法の定める婚姻の届け出をしていないため法的には婚姻として取り扱われない「事実上の夫婦関係」をさします。）ただし、事由発生日からその日を含めて30日以内にチケット使用予定者が婚姻の届出をした場合には、その配偶者を保険事故発生時においても配偶者であったものとみなします。
- (*3) チケット使用予定者の搭乗している航空機もしくは船舶が行方不明となった場合または遭難した場合において、その航空機もしくは船舶が行方不明となった日または遭難した日からイベント当日までにチケット使用予定者が発見されないときは、その航空機もしくは船舶が行方不明となった日または遭難した日に、チケット使用予定者が死亡したものと推定します。
- (*4) 「3親等」等の続柄は、事由が生じた時点におけるものをいいます。
- (*5) 航空機、船舶、車両等の交通機関をさします。
- (*6) 気体または蒸気の急激な膨張を伴う破壊またはその現象をいいます。
- (*7) 台風、せん風、暴風、暴風雨等によって生じた事故をいいます。ただし、こう水、高潮等によって生じた事故を除きます。
- (*8) 台風、暴風雨、豪雨等によるこう水・融雪こう水・高潮・土砂崩れ等によって生じた事故をいいます。
- (*9) 滅失、汚損、破損等をいい、消防または避難に必要な処置によって家屋または家財について生じた損害を含みます。
- (*10) 勤務先の出張命令者の命令による、日本国を起点とする日本国外への業務出張をいい、日本を出国してから帰国するまでの期間を最大3ヶ月とします。
- (*11) 勤務先の出張命令者の命令による、宿泊施設への宿泊を伴う勤務先業務出張をいいます。

詳しく解説！：その1 ⑧同伴者事由はこんな場合に適用されます（※架空のケースを想定したものです）

 <p>仲良しカップルのタロウとハナコ。ある日タロウはハナコを二人の好きなバンドのコンサートに誘いました…</p>	 <p>しかしコンサートの当日、なんと、ハナコは高熱を出し、お医者様の診察を受けました。コンサートはあきらめ、自宅で休養することになりました。</p>	 <p>ハナコも心配だし、彼女と一緒にコンサートを観たかったタロウも、コンサートに行くことを断念しました。</p>	 <p>でも、二人とも「チケットガード」に契約していたので、ハナコの方はもちろん、タロウのチケットも同伴者事由により保険金が支払われました！</p>
--	--	--	---

詳しく解説！：その2 ⑧同伴者事由、こんな場合にご注意！（※架空のケースを想定したものです）

 <p>職場の仲良しグループ、タロウ、ハナコ、ジロウ、マリコ。演劇好きの4人は、一緒にお芝居に行くことにしました。</p>	 <p>しかし前日になってタロウは上司から1週間の地方出張を命じられ、お芝居に行くことができませんでした。</p>	 <p>他の3人も行きませんでした…</p>	 <p>「チケットガード」のおかげで、タロウと同伴者1名分のチケット1枚分は保険金が支払われましたが、2名分のチケットはムダになってしまいました…</p>
--	--	---	--

※同伴者事由により保険金が支払われるのは同一保険契約内において事由が発生したチケット使用予定者に同伴を予定していた方1名分までです。
 ※同伴者の方との関係性は問いません。

同伴者事由での保険金請求におけるご注意事項

- *当事者、同伴者の方のイベントチケット共に、同一の保険契約であることが条件です。
(保険契約確認証番号が同一であること)
- *同伴者事由で保険金をお支払いできるのは、事由が発生したチケット使用予定者に同伴を予定していた方1名分までとします。
- *同伴者事由単独での保険金請求はできません。元の事由による保険金請求手続きが先に行われているか、まとめて2枚分請求いただく必要があります(できるだけ代表の被保険者の方がまとめて保険金請求を行うことをお勧めします)。
- *元の事由による保険金がお支払いできない場合は、それと関連する同伴者事由も保険金をお支払いできません。

6 保険金をお支払いできない主な場合

- ① 被保険者またはチケット使用予定者の故意または重大な過失
- ② 保険金を受け取るべき者の故意または重大な過失。ただし、その者が保険金の一部の受取人である場合には、他の者が受け取るべき金額についてはこの規定は適用しません。
- ③ 被保険者、チケット使用予定者の犯罪行為、または闘争行為
- ④ 被保険者、チケット使用予定者が法令に定められた運転資格を持たず、または酒に酔ってもしくは麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、シンナー等の影響により正常な運転ができないおそれがある状態で自動車または原動機付自転車を運転している間に生じた事故
- ⑤ 地震もしくは噴火、またはこれらによる津波
- ⑥ 戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変
- ⑦ 核燃料物質もしくは核燃料物質によって汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性、またはこれらの特性による事故
- ⑧ 前3号の事由に随伴して生じた事故による傷害、または疾病、またはこれらに伴う秩序の混乱に基づいて生じた事故による傷害もしくは疾病
- ⑨ 第7号以外の放射線照射、または放射線汚染
- ⑩ 主催者が予め定める入場基準等を満たしておらず、イベント会場に入場できなかった場合
- ⑪ イベントチケットの破損または半券を切り離した場合
- ⑫ **弊社は、頸部症候群、腰痛その他の症状を訴えている場合であっても、それを裏付けるに足る医学的他覚所見のないものによって5 保険金をお支払いする場合①または②のいずれかに該当したことにより、被保険者、チケット使用予定者が被った損害に対しては、その症状の原因が何であるかにかかわらず保険金を支払いません。**

7 保険責任期間

保険責任期間は、弊社が保険料を領収した時刻、または、弊社が保険契約の申込を承諾した時刻のいずれか遅い時刻から始まり、イベントの終了時刻または保険責任の開始時刻から1年を経過する時のいずれか早い時刻に終わります。イベントが延期になった場合は最大2年間まで保険責任期間を延長します。

8 弊社がお引き受けする保険契約について

不使用チケット費用補償保険としての引受範囲は次の通りとなります。申込まれた保険契約が引受範囲を超える場合はお引き受けできません。

- (1) 引受範囲
保険契約お申込みと同時に、次の項目を確認し、いずれにも該当しない場合にはお引受可能とし、申込みを承諾します。
 - i. 最も高いイベントチケットあたりの代金が上限金額である20万円を超える場合
 - ii. 一契約あたりの保険金合計額が100万円を超える場合
 - iii. 保険の申込日からイベント当日までの期間が1年を超える場合
 - iv. 保険の申込日から起算して、イベント当日までの日数が6日以下である場合 (一部商品を除きます。)
- (2) 保険責任期間について
最長1年間とします。イベントが延期になった場合には、延期されたイベント当日まで保険責任期間を延長します(最長2年間以内)。
- (3) 保険金額について
 - i. 一の被保険者にかかる全ての保険契約の保険金額合計額は、1,000万円を超えないものとします。
 - ii. 一の保険契約者にかかる保険金額の合計額が10億円を超えないものとします。

9 保険金額

- ① 券面金額の合計金額(発券手数料、決済手数料、送料等は含みません)をご契約申込時にご申告いただきます。
その金額は、保険契約確認証に記載されます。
- ② 券面金額の合計金額より高い金額を申告された場合でも、お支払いできる保険金は実際の券面金額となりますのでご注意ください。
- ③ 券面金額の合計金額より低い金額を申告された場合、ご申告の金額までしか保険金をお支払いできませんのでご注意ください。

10 保険料および保険料払込期日

- (1) 保険料
実際に払い込み頂く保険料はチケット価額に応じて設定されますのでチケット購入時にご確認下さい。
- (2) 保険料払込期日
保険料をコンビニエンスストアで払い込みされる場合には、弊社が定める指定時刻までに払い込みください。

11 保険料の払込方法

保険料の払込方法は、次のいずれかによるものとします。

- (1) クレジットカード決済(領収時刻はクレジットカード会社の決済承認時刻)
- (2) 電子マネー払い(領収時刻は弊社のインターネット口座への入金時刻)
- (3) コンビニエンスストアでの払込(領収時刻はコンビニエンスストアの決済代行会社が取引を有効と確定した時刻)

12 保険責任期間中の保険料の増額または保険金額の減額について

弊社は、保険事故が弊社の想定を超えて頻発した結果、現行の保険料または保険金支払を維持できなくなったときは、弊社の定めるところにより、この保険契約の保険料の増額もしくは保険金額の減額を行うことがあります。この場合は、書面によりその旨を通知します。
なお、通知を行う前の事故については、保険料の増額および保険金額の減額の適用はありません。

13 配当金の有無

契約者配当はありません。

14 解約と返還保険料について

ご契約を解約される場合は、弊社までご連絡ください。なお、解約に際しては、保険責任期間の残存日数が14日を超える場合の返還保険料は保険料全額、保険責任期間の残存日数が14日以下の場合の返還保険料は0円となります。

解約の場合の返還保険料の計算方法	
1 保険責任期間の残存日数が14日を超える場合	返還保険料=保険料全額
2 保険責任期間の残存日数が14日以下の場合	返還保険料=0円

注意喚起情報

！ご契約に関する全ての内容を記載しているものではありません。詳細については約款をご確認ください。

1 保険金をお支払いできない主な場合

契約概要 6「保険金をお支払いできない主な場合」をご確認ください。

2 弊社にご連絡をいただく必要がある場合

以下のような場合、ご契約者の方は遅滞なく弊社までご連絡ください。

- ・ 契約概要 5「保険金をお支払いする場合」に該当する保険事故が発生したとき。
その他の重要事項1「保険金請求の手続き」に基づき、遅滞なく弊社に状況を通知してください。
- ・ ご契約者の方がご契約締結後にご住所、ご連絡先、メールアドレス等をご変更したとき。
- ・ ご契約者を第三者の方に変更する場合（※被保険者の方および弊社の承認を得る必要があります）

3 保険責任の開始時期

弊社が保険契約の引受けを承諾し、保険料を領収した時刻、または、弊社が引き受けを承諾した時刻のいずれか遅い時刻から保険責任が開始します。なお、ご契約成立後、弊社の指定時刻までに保険料の払込みがない場合は、お申込時に遡り契約は成立しなかったものとしします。

4 保険料の払込猶予期間

保険料の払込猶予期間はありません。

5 契約の失効について

保険契約締結後、以下の場合には保険契約は失効となり、保険料を返還いたします。ご契約者の方にお知らせする弊社からのご案内にしたがって手続きください。

- ① イベントが中止となった場合
- ② イベントの日程等の変更により、主催者または弊社が指定するチケット販売業者からチケット代金の払戻しを受けた場合
(※払戻しを受けたイベントチケットのみ部分失効となります。同じご契約のその他のイベントチケットについては契約は継続します。保険料のご返還にあたっては、チケット代金の払戻しを受けたことを証明する郵便払出証書等のご提出が必要です。)

6 クーリングオフについて

不使用チケット費用補償保険の保険期間は保険申込時点で1年以下であるためクーリングオフの対象とはなりません。

7 保険契約者保護機構について

この保険契約は、保険契約者保護機構への移転等の補償対象契約ではなく、弊社に対しては同機構が行う資金援助等の措置の適用はありません。

8 保険料の増額または保険金の削減払について

弊社は、巨大災害等が発生した結果、弊社の経営維持に重大な影響があると認められる場合に限り、弊社の定めるところにより保険料の増額もしくは保険金の削減払を行うことがあります。この場合は、書面等によりその旨を通知します。
なお、通知を行う前の事故については、保険料の増額および保険金の削減払の適用はありません。

9 契約引受可能な範囲について

弊社は少額短期保険業者として、以下の範囲内において契約を引き受けます。

- ① 保険責任期間が1年以内であること。
 - ② 一の被保険者について保険金額の合計額は1,000万円を上限とすること。
 - ③ 一の保険契約者にかかる保険金額の合計額は10億円を上限とすること。
- 上記以外の条件は契約概要 8「弊社がお引き受けする保険契約について」に記載の通りとします。

10 個人情報の取扱いに関するご案内

弊社は、本契約に関する個人情報(過去に取得したものを含まず)を、保険引受けの判断、本契約の管理・履行、他の保険等の各種商品・サービスの案内・提供、アンケート等を行うために利用する他、下記①から⑧の利用・提供を行うことがあります。なお、保健医療等の特別な非公開情報(センシティブ情報)の利用目的は、保険業法施行規則により、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定されています。

- ① 保険契約の適正な引受け、維持管理、保険金のお支払い
 - ② 委託先(代理店を含む)のサービスの案内・提供
 - ③ 弊社業務・商品・サービスに関する情報提供、運営管理および商品・サービスの充実
 - ④ 弊社が有する債権の回収
 - ⑤ 弊社または弊社代理店が提供する商品・サービス等に関するアンケートの実施
 - ⑥ 市場調査ならびにデータ分析やアンケートの実施等による新たな商品・サービスの開発
 - ⑦ 問い合わせ・依頼等への対応
 - ⑧ その他上記目的に関連・付随する業務ならびにお客様とお取引および弊社の業務運営を適切かつ円滑に履行する為に行う業務
- また弊社は、本保険の契約または保険金支払において、保険契約者または被保険者から個人番号および特定個人情報等のいわゆるマイナンバーの情報を取得することはありません。

個人情報(個人番号および特定個人情報を含む)の取扱いについては、弊社ホームページ (<https://www.ticketguard.jp/>) を

11 支払時情報交換制度

弊社は、(社)日本少額短期保険協会、少額短期保険業者および、特定の損害保険会社とともに保険金等のお支払いまたは、保険契約の解除、取消し、もしくは無効の判断の参考とすることを目的として、保険契約に関する所定の情報を相互照会しております。

※「支払時情報交換制度」に参加している各少額短期保険会社等の社名につきましては、一般社団法人日本少額短期保険協会ホームページ (<http://www.shogakutanki.jp/>) をご参照ください。

12 補償重複に関する事項

本保険と同種の補償を他の事業者等から受けることができる場合には、補償が重複することがあります。

<主な補償の重複の例>

ご契約頂く補償	補償の重複が生じる可能性のある他の保険やサービス等
不使用チケットの補償	傷害保険、自動車保険、クレジットカード等の付帯サービス

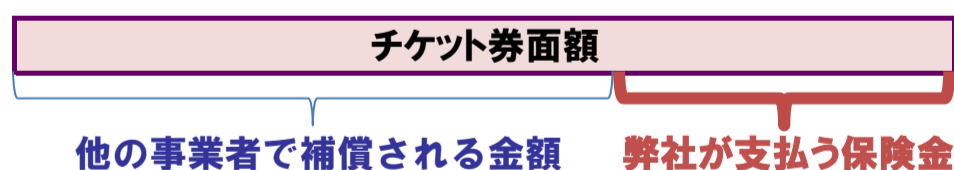
補償が重複する場合には、補償内容や補償される金額の上限などをよく確認し、本保険がお客様のニーズに合致しているか確認の上、ご契約ください。その補償内容との差異や補償される金額をご確認頂き、本保険の要否や保険金額をご判断頂いたうえでご契約ください。

<補償が重複した場合の保険金支払いについて>

補償が重複し、他の保険会社等にご請求いただいた場合、当該事業者からチケット代金の全額が支払われなかった場合の差額を弊社にご請求いただけます。

その場合、他の事業者等から保険金を受け取っている場合は既に支払われている金額を控除して保険金をお支払いいたします。

保険金のご請求手続きに際しては、未使用のイベントチケット原本(半券を切り離していない原本。コピー不可)が必要となります(返却不可)。



13 その他ご契約時にご注意いただきたいこと

- ① 保険料を払い込みいただいたのち、保険料領収証を兼ねた保険契約確認証が発行されます。発行にあたってはご契約者の登録メールアドレスに電子メールにてご通知しますので、必ずダウンロードの上ご確認ください。
- ② 万一、保険料払込み後48時間経過しても上記通知が届かない場合は、弊社までお問い合わせください。
- ③ この保険契約の保険料は、保険料控除制度の対象ではありません。
- ④ ハンドルネーム、ニックネーム等での保険のご契約はできません。
- ⑤ 1回の手続きで購入された複数枚のイベントチケットの一部のみに保険を付けることはできません。
- ⑥ この保険は、イベントが中止・延期等になった場合のチケット代金を補償するものではありません。
- ⑦ 未成年者のご契約の場合には保護者の同意が必要です。
- ⑧ 弊社が指定するチケット販売事業者以外で購入したイベントチケットはこの保険の対象外となります。
- ⑨ 日時指定なしのイベントチケット(期間指定チケット)はお申し込みできません。
- ⑩ イベントチケットの購入を伴わないチケットガードのお申し込みはできません。

その他の重要事項

！ご契約に関する全ての内容を記載しているものではありません。詳細については約款をご確認ください。

1 保険金請求手続き

- ① イベントチケットが契約概要 5「保険金をお支払いする場合」に掲げられた事由により不使用となった場合は、30日以内に弊社ホームページからご連絡ください。
- ② 契約概要 5「保険金をお支払いする場合」に掲げられた事由が発生した場合、損害があったことの確認のため未使用のイベントチケット原本およびチケット購入を確認できる書面(チケット販売業者からのメール等)をご提出いただく必要があります。不使用となったイベントチケット、チケット販売業者からのメール等は処分せず、保険金請求手続き完了まで大切に保管してください。
- ③ 保険金請求からお支払いまでの流れは以下の通りです。

保険金請求からお支払いまでの流れ

※イベント当日以降にお手続き可能となります。



- ④ 保険金請求にあたって被保険者は以下をお願いいたします。

保険金請求にあたって

- * ご請求手続きにあたっては、インターネットで保険金請求を完了後、必要書類をご郵送ください。
- * 契約概要 3「被保険者(保険の補償を受けられる方)」にあたる方が保険金の請求手続きを行うことができます。

- ① 未使用のイベントチケット原本(半券を切り離していない原本。コピー不可)
※チケットの購入が確認できるもののご提示を求められることがあります。
- ② 保険金請求書(インターネットから必要事項を入力し印刷してください。ご署名必須)
- ③ 各事由ごとに弊社が定めた書類(例:医療機関による診断書など。詳細は約款別表1を参照してください。)
- ④ 保険契約確認証兼譲渡証明書(※ただしご契約者ご自身が保険金請求をする場合は不要です)

- * 必要書類が全て揃い、弊社が保険金をお支払いできると判断した段階で保険金のお支払いが確定します。
- * 保険金をお支払いするにあたり、弊社から関係者および関係機関への照会をさせていただく場合があります。予めご了承ください。
- * 保険金をお振込みする口座は、保険金を請求する被保険者のご名義のものをご指定ください。
- * ご契約ごとにご購入のイベントチケットの席番号やIDを管理しております。同日時・同内容のイベントであっても、保険をご契約いただいた席番号やID以外のイベントチケットで保険金請求はできません。

2 お客様窓口

保険の内容に関するご不満・ご要望のお申し出は弊社下記窓口までお問い合わせください。

AWP チケットガード少額短期保険株式会社

よくある質問：<https://www.ticketguard.jp/>

03-5783-7874

受付時間／平日（土日祝日年末年始を除く） 10：00～17：30

ご注意：お電話でのご契約申込みは受け付けておりません。

弊社との間で問題解決できない場合には、弊社加入協会の一般社団法人 日本少額短期保険協会「少額短期ほけん相談室」（指定紛争解決機関）に解決の申し立てをおこなうことができます。

一般社団法人 日本少額短期保険協会

電話（フリーダイヤル）：**0120-82-1144**

受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00

（土日祝日年末年始は除く）

171TK010101-412 2017年1月作成